

令和7年度 入学試験（社会人）問題

国語

受験番号		氏名	
------	--	----	--

○ 指示があるまで開かないこと。

令和6年11月2日(土) 10時05分 ~ 10時50分

【注意事項】

- 試験問題の数は33問です。
- 問題用紙及び解答用紙に受験番号・氏名を必ず記入してください。解答用紙は下記の記入例をみて記入してください。
- 解答は、指示に従いすべて解答用紙にマークしてください。問題用紙に記載しても無効です。
なお、解答用紙には解答欄が50問までであるので、注意してください。34問以降にマークしても無効です。
- 試験問題にはすべて5つの選択肢があります。質問に適した選択肢を選び、その番号を解答用紙にマークしてください。
なお、2つ以上マークした場合は無効となります。

【解答用紙記入例】

フリガナ	セイ トウ ハナ コ	年	月	日	国語
氏名	聖 灯 花 子	6	11	2	

〔受験番号記入例〕

番 号	問	解 答 欄	問	解 答 欄	問	解 答 欄
32001	1	① ② ③ ④ ⑤	11	① ② ③ ④ ⑤	21	① ② ③ ④ ⑤
	2	① ② ③ ④ ⑤	12	① ② ③ ④ ⑤	22	① ② ③ ④ ⑤
	3	① ② ③ ④ ⑤	13	① ② ③ ④ ⑤	23	① ② ③ ④ ⑤

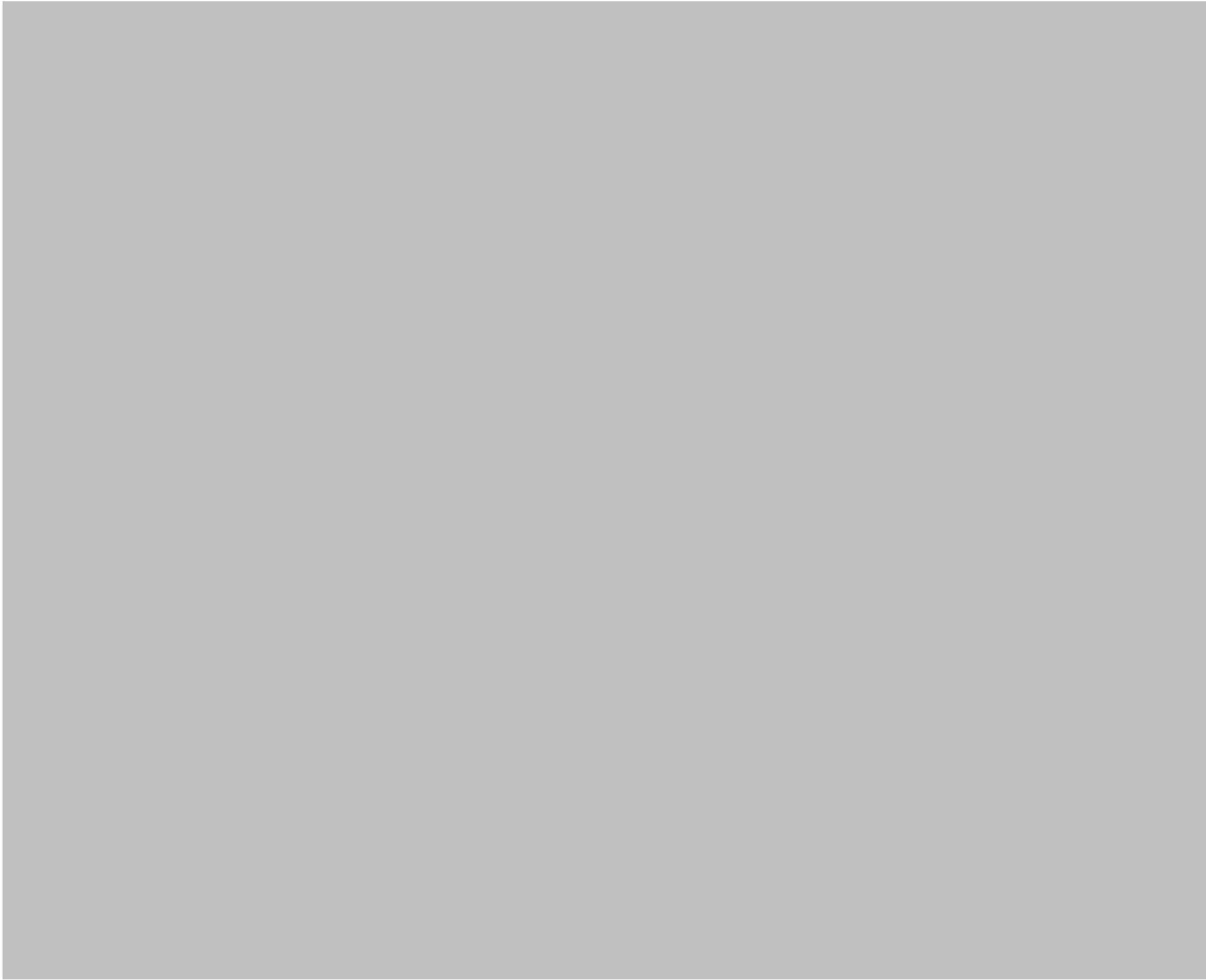
※番号欄には、右づめで受験番号を記入し、該当部分の数字をマークしてください。

マーク例

良い例	悪い例
●	☑ ○ ●

令和七年度 入学試験（社会人）問題 「国語」

一次の文章を読んで、後の【1】～【11】の問いに答えなさい。なお、作問の都合上、一部表記を改めています。



【1】 二重傍線部 a ～ e のカタカナと同じ漢字を書くものを、次のそれぞれの選択肢①～⑤の中の傍線部分から選び、その番号をマークしなさい。【解答欄は問1～5】

1 a オンケイ

- ① 隣国とのゴケイ関係を重視する。
- ② 私がソッケイする先輩の看護師。
- ③ デジタル化推進のケイキとなる。
- ④ 湖畔のジョウケイを思い出す。
- ⑤ 地球温暖化防止のケイハツ活動。

2 b シンニユウ

- ① 台風で床下までシンスイした。
- ② 胸をシンテンさせる運動。
- ③ 意味シンチヨウな発言だ。
- ④ 基本的人権をシンガイする。
- ⑤ オーロラはシンピ的な現象だ。

3 c シめる

- ① 靴のひもを固くシめる。
- ② 高齢者が人口にシめる割合。
- ③ 玄関の扉を静かにシめる。
- ④ 着物に香をたきシめる。
- ⑤ 自分の首をシめる行為だ。

4 d イジ

- ① 面接でイシユクしないようにする。
- ② 職員のイアン旅行を企画する。
- ③ エネルギー資源を他国にイソンする。
- ④ ここはセンイ産業が盛んな地域だ。
- ⑤ 昨年亡くなった創業者のイシを継ぐ。

5 e カナで

- ① 静かな部屋で一人メイソウにふける。
- ② ハロウインでおぼけにヘンソウする。
- ③ ドクソウ的な企画を次々と発表する。
- ④ ジョウソウ教育を重視している学校。
- ⑤ ギターでフラメンコをエンソウする。

【2】 空欄Ⅰ～Ⅲに当てはまる語の組み合わせとして最も適当なものを次の選択肢①～⑤の中から選び、その番号をマークしなさい。【解答欄は問6】

①Ⅰ	それゆえ	Ⅱ	なぜなら	Ⅲ	やはり
②Ⅰ	たとえば	Ⅱ	だから	Ⅲ	むしろ
③Ⅰ	けれども	Ⅱ	したがって	Ⅲ	しかし
④Ⅰ	それゆえ	Ⅱ	なぜなら	Ⅲ	むしろ
⑤Ⅰ	たとえば	Ⅱ	したがって	Ⅲ	しかし

【3】 空欄Aには、「迷惑な存在」の意味を表す語が入ります。次の選択肢①～⑤の中から最も適当なものを選び、その番号をマークしなさい。【解答欄は問7】

- 7 ① 似非者 ② 無法者 ③ 厄介者 ④ 果報者 ⑤ 調子者

【4】 空欄Bには、「直感的にわからない」の意味を表す表現が入ります。次の選択肢①～⑤の中から最も適切なものを選び、その番号をマークしなさい。【解答欄は問8】

① ①しっくりこない ② ストンとこない ③ グッとこない ④ ピンとこない ⑤ 腑におちない

【5】 空欄Cに入る接続の表現として前後関係から最も適切なものを次の選択肢①～⑤の中から選び、その番号をマークしなさい。【解答欄は問9】

- ① 言い換えると ② 敷衍ふえんすると ③ 付け加えると ④ 要約すると ⑤ まとめると

【6】 空欄Dに入る文脈上最も適当な副詞を次の選択肢①～⑤の中から選び、その番号をマークしなさい。

- ① かなり ② まるで ③ そもそも ④ まさか ⑤ はなはだ

【解答欄は問10】



【8】 波線部(2)「ウイルスの大きさ」とありますが、次の表中の「例」の欄①～⑤の中で、ウイルスが位置づく欄を選び、その番号をマークしなさい。【解答欄は問12】

12		
例	見え方	単位
①	肉眼で見える	センチメートル 100分の1メートル
②		ミリメートル 1000分の1メートル
③	光学顕微鏡で見える	マイクロメートル 100万分の1メートル
④	電子顕微鏡で見える	ナノメートル 10億分の1メートル
⑤	小さすぎて見えない	ピコメートル 1兆分の1メートル

【9】「ウイルスの特徴」を説明した次の選択肢①～⑤の中で、本文の内容とは無関係のものを一つ選び、その番号をマークしなさい。【解答欄は問13】

- ①人によって持っているウイルスには違いがあるが、血縁関係が近いと同じ種類のウイルスを持つ確率が高い。
- ②人に感染して病気を起こすウイルスはごく一部であり、多くのウイルスは人や他の生物にとって無害である。
- ③ウイルスは細胞を持つ他の生物に寄生しなければエネルギーの産生も代謝もできず、単独では存在できない。
- ④人間は、生まれるときに母親から多くのウイルスをもらい、成長とともに飲食物や空気などからも感染する。
- ⑤人体には膨大なウイルスが満遍なく分布しているのではなく、臓器や組織ごとに特徴的なウイルス叢がある。

【10】「ウイルスは生物か」という問いに対する筆者の考えとして最も適当なものを次の選択肢①～⑤の中から選び、その番号をマークしなさい。【解答欄は問14】

- ①ウイルスは、確かに他の生物に寄生して増殖や変異を繰り返しており、それを「進化」と見なすこともできるため「生命体」と考えられなくもないが、一方、個体自身でエネルギーを産出したり生殖活動を行ったりできないのであるから、やはり生物であるとは言えない。
- ②ウイルスは確かに単独で生存できないなど、生物とは言えない面もあるが、他の細胞に感染することによって、あたかも意思をもって増殖や変異を繰り返しているかのように見え、それを生命活動と見なせば、他の生物に寄生して生きる生命体と考えることに妥当性がある。
- ③ウイルスは確かに単独では生きることができないが、利用できる宿主細胞さえあれば、自分の意思をもっているかのように周囲の細胞に感染を広げるばかりか、変異することで感染できる生物の種類を広げることができるので、生物であると断言することができる。
- ④ウイルスは確かに他の生物に寄生し、あたかも意思をもって自らの生命活動を進化させているように見えるため、生命体と見なすことも可能であるが、エネルギーを自分で作れず、また、タンパク質を自分で作ることもできないなどの点に着目すれば生物であるとは言えない。
- ⑤ウイルスは確かにDNAやRNAといった進化のロジックを内包した仕組みを持っており、生命体と見なせなくもない。しかし、単独で存在することはできず、自分で生産的な活動を行うことも一切できないのであるから、やはり生物であると認めることは不可能だ。

【11】次の選択肢①～⑤の中で、本文の内容とは合致しないものを一つ選び、その番号をマークしなさい。

【解答欄は問15】

- ①病気を発症していない健康な人の体にも多くのウイルスが棲みついでおり、人体はウイルス叢を含めた「超生物体」として機能している。
- ②もともと人体にはウイルスは存在していないが、地球上にはびこるウイルスが、時折人体に入り込んでくることによって感染症が発症する。
- ③人は、生まれてからさまざまな環境で生きるなかで種々のウイルスに感染し、成長とともに安定したウイルス叢が個人ごとに形成される。
- ④地球上至るところにウイルスは存在し、私たちがレジャーで楽しんでいる山や湖、海水浴場などにも膨大な数のウイルスが存在している。
- ⑤ウイルスは自力で移動することはできないが、さまざまな動物に感染することで、あたかも生きていくように世界中に広がるができる。

二次の文章を読んで、後の【1】～【12】の問いに答えなさい。なお、作問の都合上、一部表記を改めています。





【1】 二重傍線部 a、b のカタカナと同じ漢字を書くものを、次のそれぞれの選択肢①～⑤の傍線部分から選び、その番号をマークしなさい。【解答欄は問16 17】

16 a タンサク

- ① このアンケート調査はサクイ的だ。
- ② 基礎的支出を大幅にサクゲンする。
- ③ 本市の中期計画をサクテイする。
- ④ 立場の弱い人々からサクシュする。
- ⑤ 大きな事典のサクインで調べる。

17 b カンワ

- ① 筋肉をシカンさせる薬を投与する。
- ② Aさんはカンダイな心の持ち主だ。
- ③ 新規採用の従業員をカンゲイする。
- ④ 海外の出張先からキカンする。
- ⑤ 困難な仕事にカカンに挑戦する。

【2】 二重傍線部 c「リソース」、d「端緒」、e「新奇」、f「遡及」の意味として最も適当なものを、それぞれの選択肢①～⑤の中から選び、その番号をマークしなさい。【解答欄は問18 21】

18 c リソース

- ① 存在
- ② 知識
- ③ 資源
- ④ 方法
- ⑤ 資本

19 d 端緒

- ① みなもと
- ② いとぐち
- ③ 基本
- ④ かたすみ
- ⑤ 根幹

20 e 新奇

- ① 生き生きとして新鮮なこと
- ② 今は使われない珍しいこと
- ③ この世にはありえないこと
- ④ 目新しく変わっていること
- ⑤ 独創性にあふれていること

21 f 遡及

- ① 追い求めること
- ② さかのぼること
- ③ 問いかけること
- ④ 情を寄せること
- ⑤ かえりみること

【3】 空欄Aに入る語句として最も適当なものを、次の選択肢①～⑤から選び、その番号をマークしなさい。

【解答欄は問22】

- 22 ①抽象的 ②根本的 ③基本的 ④自律的 ⑤分析的

【4】 空欄B、Cに入る句として最も適当なものを次の選択肢①～⑤の中からそれぞれ選び、その番号をマークしなさい。【解答欄は、Bは問23、Cは問24】

- | | | | |
|-----|----|-------------------|-----------------|
| Bは問 | 23 | ①動作によって影響を受ける人やモノ | ②動作そのものを表す語(述語) |
| Cは問 | 24 | ③動作の時制 | ④動作の対象となるモノの状態 |
| | | ⑤動作をする人(主語) | |

【5】 筆者は、出典の『言語の本質』で、幼児を対象に次のような実験を行ったことを述べています。

〈実験の手順〉

- (1) 子どもが知らないモノに新奇な名前(「ネケ」)を付ける。
- (2) 子どもに次の3種類のモノを見せ、「ネケはどれ?」と聞く。
 - ①名付けられたモノと形もその他の特徴(大きさや模様)もそっくりのモノ
 - ②形は似ているが他の特徴が異なるモノ
 - ③形もその他の特徴もまったく異なるモノ

〈実験の結果〉

2歳児は、①と②を躊躇なく「ネケ」として選んだ。③は選ばなかった。

この実験の結果から分かることとして最も適当なものを、次の選択肢①～⑤の中から選び、その番号をマークしなさい。【解答欄は問25】

- 25
- ①子どもは初めて聞いたことばを苦勞することなく使いこなすことができるということを示している。
 - ②ことばというのは、形が似ている他のモノにも使えるのだと子どもが思っていることを示している。
 - ③子どもはことばの意味を、大きさ、形などすべての要素を総合して理解していることを示している。
 - ④ことばの力を高めるうえで、ことばを用いる人への子どもへの信頼感も重要であることを示している。
 - ⑤ことばというのは形以外の特徴も捉えて理解すべきものだとして子どもが考えていることを示している。

【6】 波線部(1)「オノマトペの持つ音象徴」とありますが、筆者は出典の『言語の本質』で、『音象徴』とは、音によって対象の性質を類似的に表現すること」と説明しています。このことを踏まえて、「オノマトペの音象徴」とは無関係の事例を、次の選択肢①～⑤の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。【解答欄は問26】

- 26
- ①「サクラ」という語は人に「春」を感じさせ、「モミジ」という語は人に「秋」を感じさせる。
 - ②「コロコロ」と「ゴロゴロ」のように清音に比べて濁音は、強い、大きいなどの印象を与える。
 - ③「ねちゃねちゃ」、「ぬめぬめ」など「n」音の語は滑らかさや粘り気などのイメージを喚起する。
 - ④「ワッハッハ」と「イッヒッヒ」のように母音の「a」音は大きい音、「i」音は小さい音を連想させる。
 - ⑤「ゴジラ」という名は強そうだが、もし「コシラ」だと小さくて弱そうないメージになってしまう。

- 【7】 波線部(2)「子どもは頻繁に誤りを犯しながら」とありますが、次の子どもの言葉の誤用の二つの事例の説明として最も適当なものをそれぞれの選択肢①～⑤の中から選び、その番号をマークしなさい。

【解答欄は問 27 28】

例1・祖母がお客様に「粗茶ですが」と言ってお茶を出した。それを聞いていた三歳の孫が「どうして『おちゃ』じゃなくて『そちゃ』と言うの?」と尋ねたので、祖母が「お客様には『ソ』をつけて出すのよ」と答えた。すると、孫は、自分の猫を抱いてきてお客様に「ソネコですが」と言ってみせた。

- 27
- ① 「ソ」を付けて呼ぶと猫を大切にしている思いをお客様に表せると類推した。
 - ② 自分の猫に「ソ」を付けて紹介するとお客様に喜んでもらえるかと類推した。
 - ③ お客様の注意を自分の持ち物に向けさせるときに「ソ」を付けると類推した。
 - ④ お客様に対して自分が出すものを言い表すときに「ソ」を付けると類推した。
 - ⑤ 自分の猫をお客様に紹介するとき「ソネコ」という名前で呼ぶと類推した。

例2・三歳の子どもがサッカーボールを前に置いて、親に向かって「足で投げるからとって」と言った。

- 28
- ① 手の平や足の裏を使ってボールを押すことを「投げる」と言うのだろうと類推した。
 - ② ボールが空中を飛んでいく様子を「投げる」と言いあらわすのだろうと類推した。
 - ③ 手や足で丸いボールを前にこがす行為を「投げる」と言うのだろうと類推した。
 - ④ 丸いモノに自分が働きかける行為はなんでも「投げる」と言い表すと類推した。
 - ⑤ 手や足を使ってボールを遠くの目標にとぼす行為を「投げる」と表すと類推した。

- 【8】 波線部(3)「ももとは「似ている」と思わなかった概念にも類似性を感じるようになる」とありますが、「形」以外の概念の類似性による認識の例として最も適当なものを、次の選択肢①～⑤の中から選び、その番号をマークしなさい。【解答欄は問 29】

- 29
- ① 黒、茶、白、縞模様など体の色や模様に関わらず「猫」と言う。
 - ② 苺狩りに行った後に苺の形を描いて「イチゴ」を表す。
 - ③ チューリップもサクラも「花が咲いた。」と言う。
 - ④ の記号を見た人に「りんご」だと伝わる。
 - ⑤ 種々の路線の電車を水色、橙色、赤色の長方形で描く。

- 【9】 波線部(4)「既存の知識を質的にも変化させる」とはどういうことですか。その説明として最も適当なものを次の選択肢①～⑤の中から選び、その番号をマークしなさい。【解答欄は問 30】

- 30
- ① 具象的な知識が一般化、抽象化し、物事の関係性や本質など直接知覚できない側面を認識できるようになるということ。
 - ② 既に知っている知識を体系づける概念が広がり、どんな新しい語にも対応できる柔軟性をもてるようになるということ。
 - ③ 自分の感覚や知覚に頼って捉えていた既存の知識と他の知識との類似性を、論理的に認識できるようになるということ。
 - ④ バラバラに身につけてきた知識を再編成して体系として捉え、効果的に学習できるようなものに洗練されるということ。
 - ⑤ 膨大な量の言語を身につけることで抽象的な知識を構造化する基準が明確になり、身体化できるようになるということ。

【10】 波線部(5)「言語を学習することができるとヒトと、言語を学習しないヒト以外の動物で、学習の仕方によ
うな違いがあるのか」とありますが、ヒトとヒト以外の動物の学習の仕方の違いの説明として最も適当な
ものを次の選択肢①～⑤の中から選び、その番号をマークしなさい。【解答欄は問31】

- ①ある記号とそれが指し示すモノとが対応していることを試行錯誤しながら習得することを通して、そ
の記号の意味を理解する学習は、ヒトだけでなくヒト以外の動物にも可能である。
- ②何かについて一つの知識を得ると、それを別の機会に適用して推測し、新たな知識を学習するとい
うプロセスを繰り返して知識を飛躍的に高める学習ができるのはヒトだけである。
- ③統計情報を分析することによって認識した複数の単語を組み合わせて作った文を文字列から取り出し、
さらにその意味を理解することは、ヒト以外の動物にも学習可能である。
- ④音のランダムな並びの中から、単語の最初に来やすい音、来にくい音、さらには続きやすい並びの音
を統計的に分析し、単語として認識することができるのは、ヒトだけである。
- ⑤日本語の場合に、「が」「は」「を」などの頻度が高い助詞を目安として単語の終わりに来る音を見極め、
単語として認識し、さらに文の構造を認識することは、ヒト以外の動物にもできる。

【11】 波線部(6)「帰納推論」とあります。「帰納推論」とは、「同じ事象の観察が積み重なったとき、その観察した
情報に基づいて一般規則を導き出す推論」のことです。このことを踏まえて、「帰納推論」の例として最も適
当なものを、次の選択肢①～⑤の中から選び、その番号をマークしなさい。【解答欄は問32】

- ①哺乳類は胎生である。クジラは哺乳類だ。だからクジラは胎生だ。
- ②陸地からずっと遠く離れた崖から魚の化石が見つかった。ということは、この崖は数万年前には海底だっ
たのだろう。
- ③すべての人間は死ぬ。ソクラテスは人間だ。だからソクラテスは死ぬ。
- ④Xの靴の底には赤土が付着していた。駅前の郵便局の周りは赤土だ。このことからXは駅前の郵便局に行っ
たと推測できる。
- ⑤A町のカラスもB町のカラスもC町のカラスも皆黒い。だからカラスは黒い。

【12】 波線部(7)「これがいかに大きな洞察であるか」とありますが、このことの説明として最も適当なものを次の
選択肢①～⑤の中から選び、その番号をマークしなさい。【解答欄は問33】

- ①モノ、行為、性質など全ての対象には名前があるという見通しを持つことは、その後の単語の意味お
よび文の構成・意味の探求などに発展し、「言語」という巨大なシステムを習得する原動力になると
いうこと。
- ②掌に感じた冷たい液体とwaterという綴りが対応しているという発見は、モノに名前があることを理解し、
チンパンジーと同程度の学習を超えて、記号と対象の対応という一般的認識に進みうるということ。
- ③モノだけでなく、行為や性質、また状態などにも名前があると理解することは、その後に膨大な量の「単
語」を習得しようとする契機となり、ひいては多種多様な言語の習得につながっていくということ。
- ④掌に綴られた刺激がwaterという名前であると認識することは、過去に経験したすべての感覚に共通
する「意味」を理解することに通じ、その後の学習が知の体系化に発展する可能性を秘めているとい
うこと。
- ⑤モノ、行為、性質、状態など全ての事象には名前があるという認識を持つことは、その後に、音声記
号にとどまらず、文字記号、ジェスチャーなど多様な記号表現を習得することの強い動機となるとい
うこと。